

1. 単元名 「Let's be one with OMUTA!」

2. 単元の目標

- 大牟田市の観光資源のよさや、大牟田市で活躍している農園やおすすめの店・スポットなど大牟田の魅力を他の市町村の人々に伝えるために調べて、それを発信することを通して知見を広げ理解することができる。 (知識・技能)
- 伝えたい内容を地球環境の視点で課題解決に向けて深化させながら考え、簡潔明瞭にまとめたり、人を惹きつける伝え方で表現したりすることができる。 (思考・判断・表現)
- 伝えたい内容を発信することで人との繋がりを実感し、「サステイナブルな生き方」を永續するためにさらに意欲的に調べて取り組む。 (主体的に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

○ 本単元では、「Let's be one with OMUTA!」を教材として取り上げる。大牟田市の人口は、昭和30年をピークに毎年減少し続けている。また生産年齢人口は昭和40年をピークに毎年減少し続けている。本市は少子高齢化問題を抱えていて、それまで65歳以上の人口は緩やかに増加を続けていたが、令和2年をピークに減少へと進んでいくこととなった。このまま進むと、15年後には総人口86,000人になると予測。そのうち年少人口約8000人弱、生産年齢人口が40,000人超で50.5%、老年人口が約35,000人で40.4%となり、高齢化率は4割に達すると推測される。同年の予測では、全国の高齢化率が33.4%、福岡県33.0%であり、将来においても大牟田市の高齢化率は、国や県の平均を大きく上回っている。

さらに、就業者数を見ると、第一次産業は、昭和40年のおよそ60000人から平成22年には、約10000人になり約80%超の減少となった。第二次産業の製造業も60%強減少、第三次産業の商業・サービス業も約4000人から約3000人となり20%減である。この大牟田市の現状は、子どもたちにとって実感がわからない、現実感のない課題である。しかし、俯瞰的に物事を考えると、今の地球環境問題を他人ごととして考えがちになってしまうという共通部分が見えてくる。つまり、実際に起きている「貧困問題」「ゴミ問題」「差別問題」「資源問題」などは、直接には感じることができないが、少し視点を変えたり、そのことについて調べたりすることで子どもたちは、自分たちが受けている恩恵と切り離せないことに気づく。その恩恵の裏側を知ることができるのである。自分たちが今後、負の遺産を残してしまうことになり、今現在も、世界には理不尽な負の遺産を負わされている人々、あるいは子どもたちがいることを知ることができる。これらの問題に対峙することは、これからの地球を守っていく責任である。

ここに一つの例を挙げる。大牟田市は、我が国最大の炭鉱のまちとして近代日本の発展をエネルギー一面から支えてきた。近代日本の発展を支えた石炭。また、いつか底をつく石炭に対して、100年先まで続くと見越しての「三池港」開港。その発展の歴史は「近代化産業遺産」として世界的に認められたのである。しかし、今2021年を生きる子どもたちがその歴史について多様な角度で見ると、「環境」「地球」「海」「自然」「労働」などの今の世界が抱えているSDGs目標達成のための課題に切り込むことができる。これまで支えてきた人々への畏敬と、現実起こっている多くの「矛盾」や「気候変動」や「環境課題」に気づき、そして、子どもたちはこれからの100年を見通して課題解決策について考えることこそ、これから様々な地球環境問題を背負いながら生きぬく子どもたちに深化させるのである。つまり、子どもたちは、意識して地球環境の課題を探し出し、解決策を見出すのではない。自分が関心をもった大牟田市の「伝えたいもの」を調べていくうちに、実はいつの間にか持続可能性の社会を永續させるために、考え分析したり、表現したりしていく力を身につけていくのである。

このように、自分たちが知っている今の大牟田市について調べていく中で、本質を見極める力をのばしていくことができる。また、実感がわからない「大牟田の危機」から「日本・世界の危機」として捉え、自分の意見をまとめ、プレゼンテーションを重ねていくことで、「大牟田市」

への郷土を愛する心や日本と他国を隔てずに思う心、地球を守っていく「持続可能な社会」を継続するための意欲や思考力を育てることができると考える。資源の少ない日本人がこれから生き残っていくために必要な力ではないだろうか。

(※数値は【大牟田市人口ビジョン】【大牟田市中心地街地活性化基本計画】を参照)

## (2) 児童観

- 本学級の児童は、1学期「大正フラワータウンプロジェクト」に取り組み、花苗を育て、地域の見守り隊の方に感謝の手紙を添えてプレゼントしたり、駅前ロータリーの花壇のお世話をしたりして、植物に関わる活動をしてきている。また、SDGsについて調べたことを絵本に書いて全校児童に読んでもらう活動もしてきた。「環境問題」「地球温暖化問題」に関連づけて考えるために社会科で「持続可能な生産の工夫」の学習の中で、また、国語科では批判的にグラフや資料を見ながら文章を論理的に理解する学習を通して環境に関わる本や資料にも触れてきた。その中で自分たちの活動と地域との繋がりを結ぶための価値観について学んできた。そこで、今回身近な「地域」と「世界・地球」を結んで環境について考える本題をとりあげる意義は大きい。

## (3) 指導観

- 本単元は、「総合的な学習の時間」の学習である。ただし、課題解決に向けて相手にわかりやすく伝えるために、国語科「新聞を読もう」の学習の中で、文章を論理的に考え、資料等を的確に理解するための新聞の書き方の工夫や資料の生かし方について学習する。また、「固有種が教えてくれること」の学習で、「人間の活動」によって生物が絶滅していき、その絶滅を防ぐために人間が「天然記念物」に指定したり、「絶滅危惧種」のランク分けをしたりする活動をしている矛盾点や地球環境を守るための「人間の行動責任」について考え、また、伝えたいことをより伝わりやすくするための資料の効果的な使い方について学習する。社会科「これからの食糧生産」では、生産者の持続可能な生産の工夫や消費者の責任、食品ロスなどについて学習する。調べていく内容の観点として、①②③と考える。

### ①【調べる】

「持続可能な社会を続けるために」「地球環境との関わり」「地球温暖化問題との関わり」などの視点で調べて考えていくことを伝える。

### ②【大牟田日帰り一日ツアー】on-line プレゼンテーション作成・発信

相手に伝えるために「魅力的」で「1回聞いてわかる」プレゼンテーションを考えることや、on-lineを見た後に「大牟田に行ってみよう！」と思ってもらえるより良い作品を作るために、自分では気づかないことを友だちとアドバイスをし合いながら、みんなで作り上げるLet's be oneの意識を持って協働して進めていくことを伝える。

### ③【NEWS Let's be one with OMUTA! (例)】新聞作成・発信

さらに発信し続けていくために、プレゼンテーションで経験したことを生かしながら「新聞作り」をする。

実社会や実生活の中から情報を集め、国語科・社会科で学んだ見方・考え方も活かしながら整理分析して、まとめ、表現することができるようにしたい。また、今回「発信したこと」がゴールではなく、これから持続可能な社会づくりを考え、地域や地球の様々なテーマや環境問題を自分ごととして捉え、考え続けていこうとする意欲を持たせたい。

## (4) ESD との関連

### ・ 本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

- 相互性・・・ On-line で相互のまちを紹介し合うことで、お互いの地域のよさが分かり、町の活性化にも繋がるということ。
- 実態概念・・・ 地球環境問題の解決に向けて大牟田で活躍している農園や店や企画に興味を持つことで問題を身近なこととして捉える。
- 責任性・・・ 大牟田の観光資源を支えている人々の努力や思いを知り、町に住む者として自分

に責任があるということ。

公平性・・・自分たちの町だけではなく、お互いの町や市のよさを広め、栄えていくことが持続可能な社会に繋がるということ。

#### 4. 単元の評価基準

##### ○ この学習を通して育てたいESDの資質・能力

未来を予測する力

自分が調べた内容やテーマから持続可能な社会を創るための必要な課題に気付き、多面的に考えることができる。そして、将来大牟田を訪れてみたいと思ってもらえるための効果的な伝え方を考えることができる。

批判的に考える力 (critical thinking)

便利性やファッション性だけではなく、環境への負荷を考えたものづくりや、健康を考えた野菜や土作りなど、人々の深い考えや努力が今の大牟田を支えている。この大牟田の観光資源を環境との繋がり視点で考え、話し合ったり、紹介し合ったりする。

進んで参加する態度

これから自分たちが主体となって「持続可能な社会」をつくっていかこうとする意欲をもち、そのためにも自分たちの町の紹介をさらに他の市町村の人々に伝えていこうとすることができる。

##### ○ 本学習で変容を促すESDの価値観

世代間の公正

自然環境や持続可能な視点から大牟田の農業・工業・商業などの活性化を考え、将来のために環境や資源について考え、負の遺産を残さない課題や対策を自分事として捉え、サステイナブルな生き方に取り組むことが大切である。

自然環境を保護する

地球環境問題の主に「気候変動」「地球温暖化問題」「生態系保護」など、実際に身の回りに起こった大雨の災害や日常事象と関連させて考え、自分たちが受けている自然の恩恵を守り、環境保護に向けて考えることが大切である。

幸福感を大切に

自国の幸福を願うように、すべての国や人の幸せを願い、持続可能な将来につながる考えを持ち、資源や権利が公平に分かち合える社会をつくるために考え続けることが大切である。

##### ○ 達成が期待されるSDGs

- 2 飢餓の解消
- 11 まちづくり
- 13 気候変動
- 17 人とのつながり

#### 5. 単元の指導計画 (全8時間)

ア知識・技能	イ思考・判断・表現	ウ主体的に取り組む態度
① 大牟田の観光資源や伝えたいことについて調べている。 ② 観光資源について、また農園や店や企画に関わる人々の努力や工夫などを知り、理解している。	① 調べた内容と「地球環境問題」「持続可能な社会」との関連性を考えたり、課題解決に向けて追求したりしている。 ② 調べた内容を相手意識を持って表現したり、記述したりしている。	① 調べた内容を発信していかこうと意欲的に調べている。 ② 「サステイナブルな生き方」について意欲的に追求し、調べたことをさらに多くの人に知ってもらおうと活動に取り組んでいる。

学習活動	学習への支援	評価
<p>1 新聞の効果的な書き方や資料の見方について学習する。(2時間)</p> <p><b>(国語科「新聞を読もう」)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じテーマなのに、書き方に違いがある。</li> <li>・リードを書くことで何について書かれているのか大まかに理解して読める。</li> </ul> <p><b>(国語科「固有種が教えてくれること」)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2の排出量は先進国が多い。</li> <li>・東南アジアやアフリカと日本との差が大きい。</li> </ul> <p>2 「これからの食品」について環境問題と関連させながら考える。(1時間)</p> <p><b>(社会科「これからの食糧生産」)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・穀物の大部分は飼料として輸出入されている。</li> <li>・バーチャルウォーターについて考えないとね。</li> <li>・アメリカに穀物メジャーがあったよね。</li> <li>・飲水が不足している人々が厳しい労働条件で働いているよ。</li> </ul>	<p>○自分の意見を相手にわかりやすく表現したり、書き表したりすることができるために、「自然破壊」「生態系」「地球温暖化問題」などのテーマで書かれてある資料を提示し、「見出し」や「リード」や「グラフ」の提示の効果的な使い方について考えさせる。</p> <p>○環境問題について資料からグラフの数値と文章を比較しながら論理的に理解できるようにするために、グラフと文章が書かれた資料を準備する。</p> <p>○「地球環境」「自然保護」等の視点で多面的に考えさせるために、持続可能な生産を続けていくための生産者の工夫や消費者の責任に関する資料を準備する。</p>	<p>①イ (思判表)</p>
<p>3 大牟田の手鎌小学校の取組について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山羊を育てて腐葉土を野菜を作って販売しているよ。「<b>循環型農業</b>」だね。</li> <li>・大正小学校の腐葉土と似ているね。</li> </ul> <p>(1時間)</p>	<p>○国語科・社会科で学習したことを振り返らせ、自分たちの住んでいるまちのよさと、「環境保護」との関連に目を向けさせるために、実際に環境を守りながら活動されている農園を紹介する。<b>(On-line 設定)</b></p>	<p>ア② (知技)</p>
<p>4 大牟田のよさを他の人にも知ってもらうために「<b>大牟田日帰りツアー</b>」を作る。(1時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・僕のおすすめスポットは「○○のお店のチョコレート」「環境発信スポット」「有明海苔」</li> </ul> <p>(例) チョコ発祥の地→エクアドル→「自然保護」の憲法ができたって・・・</p> <p>(例) Roth→環境についているんなイベントをしているお店 cafe→コーヒーもフェアトレード商品を意識するといいよね。売られてるドーナツの失敗作も食品ロス削減で販売したって・・・</p> <p>(例) 有明海苔→ブルーシーフード→有明海→ラムサール条約→ワースユーズ・・・</p>	<p>○みんなで協働して作り上げることを意識させるために【Let's be one with OMUTA!】の看板を子どもがいつでも見ることができるように掲示しておく。</p> <p>○調べる内容がどのように「環境」と関わっているか気づいたり、考えさせたりするために、「自然保護」「環境汚染」「地球温暖化」「地球環境」「差別」「労働」などの観点を持って調べるように伝える。</p> <p>○国語科・社会科で学習したことを活かした相手にわかりやすいプレゼンテーションをするために、お互いにアドバイスし合う時間を設定する。</p>	<p>ア① (知技)</p> <p>イ①② (思判表)</p> <p>ウ① (主体的)</p>
<p>5 グリーンヒルズ小学校と Zoom による「<b>大牟田日帰りツアー</b>」プレゼンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質問が出るといいなあ。(1時間)</li> </ul>	<p>○相手にわかるように伝えさせるために、声の大きさ、目線の位置などを伝える。</p>	<p>ウ② (主体的)</p>
<p>6 「<b>Let's be one with OMUTA!新聞作り</b>」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと他の人にも伝えよう。(1時間)</li> </ul>	<p>○新聞を通してさらに多くの人に伝える意欲を高めさせるために、on-line で人と繋がり、発信した意義を価値づける。</p>	<p>イ② (思判表)</p>
<p>7 活動の振り返りをする。(1時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これで終わりじゃなくてもっと真剣に考えて続けて発信していきたい。</li> <li>・自分たちができることをやって、大牟田を世界を守っていけるように発信を続けよう。</li> </ul>	<p>○これから、さらに考え続けさせるために、「環境を変えるのは自分たち」「Let's be one with OMUTA!」の役割について話し合わせる。</p>	<p>ウ② (主体的)</p>

Let's be one with OMUTA!を目指してこれまでの取組を振り返り、さらに広めて行くためにどうしたらいいのかを考える。

フラワータウンプロジェクトで地域の人との取組をしてきたけど、さらに大牟田市に人が来てもらうためにはどうしたらいいのかね。

今は外出があまり来ないけれど、いつか大牟田に来てもらった時に案内してみたい。また、おすすめスポットについてほしいなあ。

みつめる

【「大牟田日帰りツアー」プレゼンテーション作成】  
大牟田にはどんな観光資源があるのだろう？

大牟田市の観光資源を調べよう。

しらべる

- ・大牟田市の徳永農園のお野菜について伝えたい。
- ・70年前に建てられた長い歴史を持つ大正小学校の校舎建物を一度見て欲しい。
- ・ぼくたちが毎朝水やりをしている地域のための駅前ロータリー花壇
- ・映画「いのちスケッチ」のロケ地大牟田動物園。集客数が増えた工夫について
- ・300年以上も前の山車をひく三池藩の大蛇祭りや毎年竹を切って作る大蛇祭りの歴史
- ・わたしたちが作った絵本が飾られたSDGs発信コミュニティスポット「Rooth」
- ・ブルーシーフードにも入っている有明海特産品「海苔」について



徳永農園の土作りや肥料と大正小学校の腐葉土の違いは何かあるのか調べてみよう。

大牟田RDFセンターの取組も分かりやすく伝えるために調べてみよう。

「Rooth」のSDGsの取組や、置いてあるエコグッズについて調べてみよう。

美味しさと安全性と価格には何か関係があるのかな。

グリーンヒルズ小学校のみんなにも手作りエコバッグの作り方を伝えたいなあ。

環境に優しい物や、人との繋がりを作るために多くの人が取り組んでいるなあ。

ふかめる

グリーンヒルズ小学校の人たちに向けて、見る人の立場に立ったプレゼンテーションとは？

大牟田市手鎌小学校は、山羊を飼って糞を腐葉土にしているよ。その腐葉土で野菜を作って販売している。まさに「循環型農業」をしている学校も紹介したいね。



海苔はみんな食べるよね。ブルーシーフードの「海苔」大牟田市ひとめぐりのページの大正町「のり店安片岡」さん <https://www.omuta-hitomeguri.jp/souvenir-seaweed> も載せておこう。



SDGs 目標番号を入れると Goodness OMUTA がさらに分かりやすそうだ。

新幹線や西鉄電車の発着時刻やスポットまでの徒歩時間やマップを入れると計画が立てやすいね。

Let's be one with OMUTA and NAGANO City and City に向けて!

ひろげる

- ・人とのつながりを作ることで大牟田市へ足を運んでもらえる。
- ・互いの町が良くなっていくきっかけを考えると大事だと思う。
- ・身近な環境を守ることから世界に向けて地球温暖化を防止するために自分たちが何ができるか、考えて、自分たちや家族ができることから始めてくことが大事。
- ・環境を守るための自分たちの考えを伝えるために発信していきたい。

